

いのちを守る福祉・防災都市東京へ！ 都政に憲法を！

都民がつくる革新都政

2016年11月15日
発行 = 革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
ホームページ: http://kakushintosei.org/
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部25円、送料は別途)

小池都知事初の都議会第3回定例会

豊洲『新市場』への移転～大問題

都民世論と市民の運動が都政を動かす



3定都議会開会日、都庁に向かって都民要求をコールする参加者

都知事選挙での論戦、都民要求にもとづく都政の在り方への都民・国民の注目が大きく広がる中で小池百合子知事の初議会、都議会第三回定例会が、9月28日開会、10月13日閉会の日程で開催されました。今議会では、豊洲新市場をめざした。これに対し都は、問題が、都政を揺るがす大問題として最大の焦点になりました。

築地市場の東京ガス豊洲工場跡地への移転は、15年前に当時の石原知事が、同地が深刻な土壌汚染地であるのを知りながら決めたことによるものです。自民党や公明党などが移転に賛成・推進する中で、日本共産党は、一貫して築地の現在地で再整備すべきだとして反対を貫くとともに、ごまかしと欠陥に満ちた土壌汚染調査と対策工事などを厳しく告発し、食の安全を守るために奮闘してきました。

膨らむ

五輪開催費の見直し

2020年東京オリンピック・パラリンピックについて、小池知事は、東京五輪開催経費を検証している調査チームの報告を受け、都が建設する三つの恒久施設(①海の森水上競技場②ポート・カヌー、整備費491億円、③アクアティクスセンター④水泳、整備費683億円、⑤有明アリーナ⑥パレーボール・車いすバスケットボール、整備費404億円)について抜本的な見直しを検討する考えを示しました。

いでは、「必要があれば調べる」、建設費の高騰については、「都民に開かれた場で、なぜこのような額になったのか、その理由を明らかにしていく」「より透明性のある入札制度の構築に向けて議論を行っていく」と述べています。

東京に穏やかで自由な空を

危険なオスプレイいらぬ

11・23大集会に全都から参加を

在日米軍横田基地(東京・福生市など5市1町)では、2017年後半からの空軍特殊作戦機C-22オスプレイが配備されようとしています。9月の基地公開でも、駐機場の整備や格納庫を改修している様子が確認できました。

米軍横田基地所属機の訓練飛行ルート



くしんぶん赤旗/16.11.2

小池都政が誕生してから100日余、メディアは知事を東京の改革者と天まで持ち上げています。豊洲新市場への移転延期や衆院補選での候補者擁立、小池塾の開塾をさしてのようだが、果たしてそうなのだろうか。あるいは横たわるのは巨大な地下空間。都政を揺るがした豊洲新市場「盛り土」問題の衝撃のはじまりは日本共産党都議団の指摘から始まったものだ。都庁記者クラブのペテランは「豊洲移転は文字通り根底から崩れた」と驚嘆する。地下空間から見えるものは何か。発がん性物質ベンゼンが環境基準の4万3千倍という東京方跡地をなぜ新市場に選定したのか、高額な新市場建設工事の落札率が99.9%という「官製談合」疑惑など、行政にまといつく政治の腐臭はとも実務を担う都庁職員だけにつくれるものではない。知事は出馬会見で「次の都知事選がオリンピックに重なってしまいうる前に辞める」と表明している。「小池劇場」とよばれる劇場型政治を演出する由来である。だが知事の「立ち止まって考える」という豊洲新市場への移転問題の退路を断ったのは日本共産党都議団と都民の力によるものだ。「小池劇場」は都政に毒を注ぎ、いつかとも出来はしない。(駒)



連載25
考証
革新都政12年

革新都政が挑んだもの

都民のための東京改革②

革新都政二期目となる都知事選挙が1971年に実施されました。東京都はその年の3月に「広場と青空の東京構想(試案)」(以下「東京構想」)を発表。一方、自民党の単独推薦で立候補した警察官僚の秦野章候補は、環状8号線の立体道路化、国鉄跡地の活用、

「都民による都市改造運動」「シビル・ミニマムのシス

テム化」など、それまでの都市づくりを大転換する方向を提起するとともに、その具体的な方策として、多摩連関都市計画・東部地域整備計画・生活圏心帯計画・

美濃郡都知事は、また、都市づくりをすすめるうえでの指針を7つの柱としてまとめ、都民に示しました。

「東京構想」が提起した都市改造は、先駆的事業をはじめ、都民との共同を軸に、次々と実現されていきました。

たとえば、国主導で革新都政以前からすすめてられていた多摩ニュータウン建設は、①単なるベッドタウンとするのではなく、職住

柳町再開発(新宿区)では、自動車排気ガス公害の解消を実現。海上公園建設では、国の産業政策の一環としてのニュータウンづくりから、住民、地域主体のまちづくりへと転換を図りました。

江東地区再開発は、災害危険度の高い江東デルタ地帯での災害対応、生活環境改善、経済基盤強化を図ることを目的に、白鬚、四つ木、大島・小松川、木場、西国、中央、(錦糸町)の6地区で都市整備をおこなうもので、その第一号として白鬚東地区が防災拠点として整備され、その後もこの構想をベースに都市整備がすすめられることになりました。

(卯月はじめ)

東京にシビルミニマムを実現し、公害を克服して、東京を真に住みよい都市にするためには、東京の根本的な都市改造が必要である。「広場と青空に東京構想」は、このための、市民生活に視点を置いた総合的・体系的な都市改造の構想である。

結果、革新統一候補の美濃部亮吉氏が圧勝。都民は市民生活と環境優先、都民参加をかけた「東京構想」に軍配をあげたのです。

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

「都民の誰もが安心して住むべき都市」を掲げ、

羽田空港 増便・航路変更に不安

空港考えるシンポ

羽田空港の機能強化を理由に、国が航空機の飛行ルートを変えて都心に変更しようとする計画している問題で、10月18日に日本共産党区議団が「羽田空港を考えるシンポジウム」を開き、130名を超す参加者が集まりました。

「新飛行計画で安全は、京浜島上空飛行に配慮を」など5件の陳情全てを自民、公明党などが不採択にした経過を報告、沖合移転合意と空港跡地を区民に提供する約束も破られ、今回の新飛行計画・増便について一方的で、区民の安心・安全環境を守る立場から、国に撤回を求めることをしない区政の姿勢を批判し、「区民の運動、世論での力を結集して撤回を求めよう」と

「藤原幸雄区議は、議会でも取り上げた田村智子参議院議員も出席。田村氏は「増便・航路変更などの影響について、国は納得いく問題対策も住民への説明もできていない。安心

して子どもを育て、住み続けられる街づくりこそ、私たちが求めるものです。党派を超えた要求運動として声を上げていきましょう」と呼びかけました。【藤原幸雄・日本共産党大田区議】

「新飛行計画で安全は、京浜島上空飛行に配慮を」など5件の陳情全てを自民、公明党などが不採択にした経過を報告、沖合移転合意と空港跡地を区民に提供する約束も破られ、今回の新飛行計画・増便について一方的で、区民の安心・安全環境を守る立場から、国に撤回を求めることをしない区政の姿勢を批判し、「区民の運動、世論での力を結集して撤回を求めよう」と



羽田空港を考えるシンポで増便・航路問題について発言する参加者=16年10月18日

「道徳の教科化」と子どもの発達～

人間として大切 育てることになるのか?

文科省は再来年から「道徳」を「特別の教科」として、教科書を使って授業を行い、学んだことをどの程度「実践」し、「習慣化しているか」を文章で「評価」すると発表しました。東京都は、「道徳」指導の冊子を作り、夏休みに全校の「道徳推進教師」を集めて数日間の研修を行い、その内容を各校で報告させました。自立して生きること、他者との信頼関係を築くこと、内容はまだ不明ですが、いま使われている東京都や文科省の副読本では、先人やスポーツ選手の言葉を引用して「今のままでダメ、もっと頑張れ」と叱咤激励したり、「喧嘩しないで仲良く」「法やきまりを守ることを強調する内容が多いです。

革新都政をつくる会 2016年総会の開催

「小池都政はどこへむかうのか」都民の都政への関心が高まる中、革新都政への期待も強く寄せられています。都知事選挙を総括し、切実な都民の暮らし・いのちを守る要求実現、「都民が主人公」の都政への活動方針と体制を確立するために2016年総会を開催します。

- 日時：12月8日(木) 午後6時30分開会
- 会場：エデュカス東京7階ホール
- 議題：1号議案 都知事選総括、経過と活動方針
- 2号議案 会計決算及び予算案
- 3号議案 役員体制



墨田区白鬚東地区防災拠点全景・白鬚団地<内閣府HPより>

うか。そうした子どもの発達筋道とはかけ離れたところが「教育」の名でおしつけられようとしていることが、とても心配です。【穂谷陽子・都教組副委員長】